

令和6年度 第2回地域包括ケア Follow up 研修開催報告

11月27日水曜日、平日の夜でありましたが地域包括ケア Follow up 研修を ZOOM オンライン研修として行いました。今回のテーマは「聴覚フレイル」として開催しました。

聴覚フレイルについて少しご紹介しますと、昨今、県内の様々な地域で介護予防事業や地域住民向けの講話、または行政関係者や介護専門職種などに向けた講話が増えてきております。身体的なフレイルの講話はこれまで数多く行われてきておりますが、高齢者の難聴とそれに関連する認知症というトピックがあり、新しい分野の話として聴覚フレイルの講話は非常に要望が高くなってきております。実際に、今年度は少なくとも1つの市町村で複数回（5回以上のところもあります）の講話依頼を受け、さらに次年度も講話の依頼を頂くことが多くなっております。

このようなニーズに応えるべく、今年度より県土会においても、聴覚関連の講話を住民向けに先駆的に始めた先生や九州リオンのSTの方々に協力をいただき、聴覚フレイル関連のワーキンググループを立ち上げました。ワーキンググループにおいては、地域住民向けの講話資料の作成や、講話方法の確認ができるよう模範的な動画教材の作成を行っております。

今回は、このワーキンググループが作成した資料を基に、地域住民への講話を行うに際してのポイントのご紹介を行いました。平日の夜にも関わらず、30名を超える会員の方にご参加いただきました。

聴覚フレイルをはじめとして、介護予防事業は今後ますますニーズが高まるものと推察されます。地域で活躍する言語聴覚士の後押しができるよう、地域包括ケア推進局や地域リハビリテーションサポート委員会が頑張らせていただきます！

